

講演会「ポストコロナ時代を見据えた繊維関連技術」

全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスは、いまだ終息の気配を見せず、他の産業の例に漏れず、繊維産業も深刻な影響を受けています。その一方で、マスクや防護服などの繊維製衛生用品や、抗ウイルス加工などの繊維加工技術は、かつてないほどの関心が高まっている背景から、当学会ではこれまでに講演会「新型コロナウイルスと戦う繊維技術」を2回開催して参りました。

現在、本邦でもワクチン接種が開始され、免疫活性化による感染予防が期待されていますが、新型コロナウイルスと共存せざるを得ない状況はしばらく継続することが予想されており、抗菌・抗ウイルス加工や衛生用品はポストコロナ時代においても不可欠なものと考えられます。そこで今回は、「ポストコロナ時代を見据えた繊維関連技術」と題し、新型コロナウイルスのみならず、他の感染症も含めた抗菌・抗ウイルス技術についてご紹介頂くとともに、医療現場から見た防護服の課題や、マスクの快適性などについてもご講演頂きます。

川上から川下までカバーした内容となりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【期 日】2021年10月29日（金）13:00～16:50

【会 場】オンライン開催（Microsoft Teams を使用）

【内 容】予定

13:00～13:50

講演（1）「銅を中心とした金属酸化物の抗菌・抗ウイルス活性とそのメカニズム」

（地独）神奈川県立産業技術総合研究所 研究開発部 抗菌・抗ウイルス研究グループ

常勤研究員 砂田香矢乃

14:00～14:50

講演（2）「植物バイオマスからの抗ウイルス物質の生産」

京都大学 生存圏研究所 生存圏診断統御研究系 教授 渡辺 隆司

15:00～15:50

講演（3）「医療従事者からの個人防護具（特に感染防護服）に関する現状の問題点と改良に向けての提言」

岡山県立大学 保健福祉学部看護学科、岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科 教授 森本美智子

16:00～16:50

講演（4）「マスク着用に関する熱中症リスク評価 ―人体熱収支の視点から―」

信州大学 繊維学部 准教授 佐古井智紀

【主 催】日本繊維機械学会 【協 賛】大阪染色協会、関西ファッション連合

【参加費】会員 8,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円（税別）

【申 込】①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、10月13日（水）までに E-mail、FAX、Web (https://tmsj.or.jp/lecture/web_entry/) より申込みください。

【申込先】日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 6F

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

【その他】

- （1）開催前に配布資料、請求書等を送付します。参加費は事前または開催後 3 か月以内に振込みにてお支払いください。恐れ入りますが振込手数料は各自でご負担ください。
- （2）講演の録音・録画、ならびに講演中のスライド画面等の撮影は固く禁止します。
- （3）お申込みいただいた方のみの視聴に限定します。

2021年10月29日(金) オンライン開催
講演会「ポストコロナ時代を見据えた繊維関連技術」参加申込書

フリガナ

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

繊維分野の就業年数 _____ 年

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____

E-mail : _____

会員種別 : _____

下記に同意していただけません場合は、参加をお断りいたします

●講演の録音・録画ならびに講演中のスライド画面等の撮影をしないことを
【 約束します ・ 約束できません 】

●お申込みいただいた方のみ視聴することを
【 約束します ・ 約束できません 】
(当日に確認を行う場合がありますので、予めご了承ください)

連絡事項